

香 南 市 産 業 振 興 計 画

第 3 回策定委員会資料

議事次第
1. 香南市産業振興の目標・・・・・・・・・・・・・資料 1
2. 香南市産業振興計画の骨子（案）・・・・・・・・・・・・・資料 2
3. 分野別成長戦略事業について・・・・・・・・・・・・・資料 3
4. 分野を超えた連携テーマと地域活性化の実現に向けた課題 及び次年度からの取り組み内容等・・・・・資料 4
【※参考資料 ■香南市まちづくりグランドデザインの検討の流れ】

日時:平成 26年 2月28日 午後1時半から
場所:のいちふれあいセンター2階会議室

香 南 市

資料 1：香南市産業振興の目標

香南市産業振興計画の位置づけ

第 1 次香南市振興計画

◆基本構想（平成 19～28 年度）

香南市の展望と将来像を示す中長期的な計画

◆前期基本計画（平成 19～平成 23 年度）

◆後期基本計画（平成 24～平成 28 年度）

「基本構想」に定められた施策を体系的に示すとともに、その内容を明らかにした市政の基本的な計画

◆実施計画

「基本計画」に定められた施策を具体的な事業で示し、その内容を明らかにする計画

計画の体系（産業振興計画に関わる）

1. 自然：環境と調和のとれたまちづくり

2. 産業の振興と多彩で魅力ある働く場づくり

- 農林業の振興
- 水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光のまちの育成
- 雇用促進対策

3. いきいき健やかに人に優しいまちづくり

4. 安心安全で快適なまちづくり

- 都市景観・住環境の整備

5. 豊かな心を育むひとづくり

6. 楽しくにぎやかに交流するまちづくり

7. 自立した協働のまちづくり

高知県都市計画区域マスタープラン
都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律 等

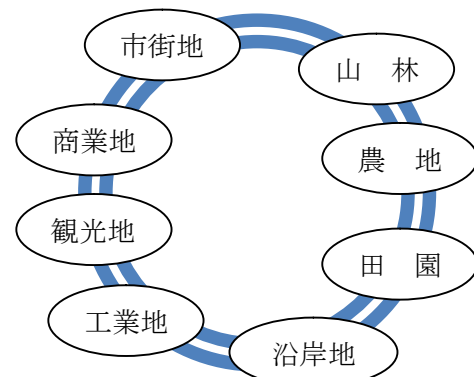
第 2 期
高知県産業振興計画
（平成 24 年度～平成 27 年度）

連携

香南市グランドデザイン

（平成 25～平成 27 年度（策定））

香南市振興計画の実現に向けて、土地利用の適正配置（ゾーニング）や各土地利用のネットワーク構築などについて明らかにした、『ハード』分野の施策を受け持つ長期的な計画

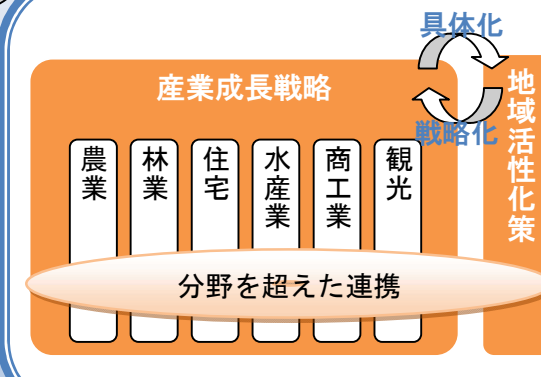


香南市産業振興計画

（平成 25 年策定～平成 26、27 年度（グレートアップ））

香南市振興計画の実現に向けて、「香南市グランドデザイン」と連携し、土地利用やネットワーク構築を担保する産業振興施策を示す、『ソフト』分野を受け持つ中期的な計画

連携



市の産業に関わる現状と課題

第 1 次香南市振興計画後期基本計画（平成 24～平成 28 年度）

農業

- 長引く不況による消費者の低価格・節約志向による販売価格の低迷
- 生産農家の減少と高齢化、後継者不足による労働力の確保
- 有害鳥獣による農作物への被害の増加

林業

- 輸入材木の増加や木材需要の減少等による長期の価格低迷
- 採算性が見込めないことによる林業従事者の生産意欲の減衰

水産業

- 輸入増加や食生活の変化などによる魚価の低迷
- 燃料費の高騰、漁獲量の減少による漁業経営の不安定化
- 漁業従事者の高齢化による担い手不足とあわせて、漁港施設・水産機能施設の老朽化

商工業

- 大型店舗への消費者の流出や経営者の高齢化による商店街の空き店舗の増加
- 商業の沈滞、商店の経営悪化、まちの活気や治安面への影響懸念
- 地域経済の活性化、雇用創出の観点からみた企業誘致の推進が必要

観光

- 地元商店街や地域の住民力を活かして行われる個性的なイベントを通して、訪れや人たちが地域との交流を楽しめる機会をつくる必要がある
- 地域の情報発信力の強化への取り組みが必要

住宅

- 農地、緑地の宅地化による従来の住環境や農地環境の変化
- 自然環境や周辺環境に配慮した良好な都市基盤が形成された、快適で暮らしやすい住環境の整備が求められている

香南市まちづくりグランドデザイン（平成 27 年度策定予定）

産業基盤

農業

- 栽培生産面積を半分以上担うコメの価格低下による農業経営の悪化と耕作放棄地増加
- 施設園芸の収穫・出荷・荷造り作業の労力不足によって栽培面積の拡大が困難
- 農家の高齢化、担い手不足による農業全体の衰退
- 農産物の地産地消及び加工・販売によるブランドの強化に向けた更なる取り組み

林業

- 中山間地集落の高齢化による農地及び山林の荒廃、林業の衰退
- 林業衰退による間伐区域の縮小と水源涵養機能の低下

水産業

- 生産施設の老朽化による生産能力の低下
- 漁港や水産物を生かした観光産業及び加工・販売によるブランドの強化に向けた更なる取り組み

商業

- 地域に密着した既存商業地の衰退
- 南国安芸道路開通に伴う、国道 55 号交通量減少による既存商業地への影響

工業

- 新たな工場等の立地には、用水の確保が必要
- 内陸部の工業集積地へのアクセスが弱い
- 空港や IC 周辺の交通利便の高い土地での工業用地の不足
- 農産物や水産物を利用した加工産業への更なる取り組み

生活基盤

- 雇用の場の不足による労働人口の市外への転出、雇用の流出

香南市の産業特性

概況

- 人口、世帯数とも横ばい。
- 常住就業・通学者のうち、約半数以上が市外への流出している一方、市内就業・通学者のうち市外からの流入は、約 3 割にとどまっている。
- 出生率は、県内第 3 位。

産業構造

- 就業者数及び就業率は減少傾向。
- 第 1 次産業、第 2 次産業、第 3 次産業の就業者構成比は、第 1 次産業、第 2 次産業が減少している一方、第 3 次産業で増加。
- 15 歳以上の就業者割合は、第 1 次産業では農業、林業が 97%、第 2 次産業では製造業が 64%、第 3 次産業では卸売業・小売業が 25%、次いで医療・福祉が 21%と高い。

主要指標の推移

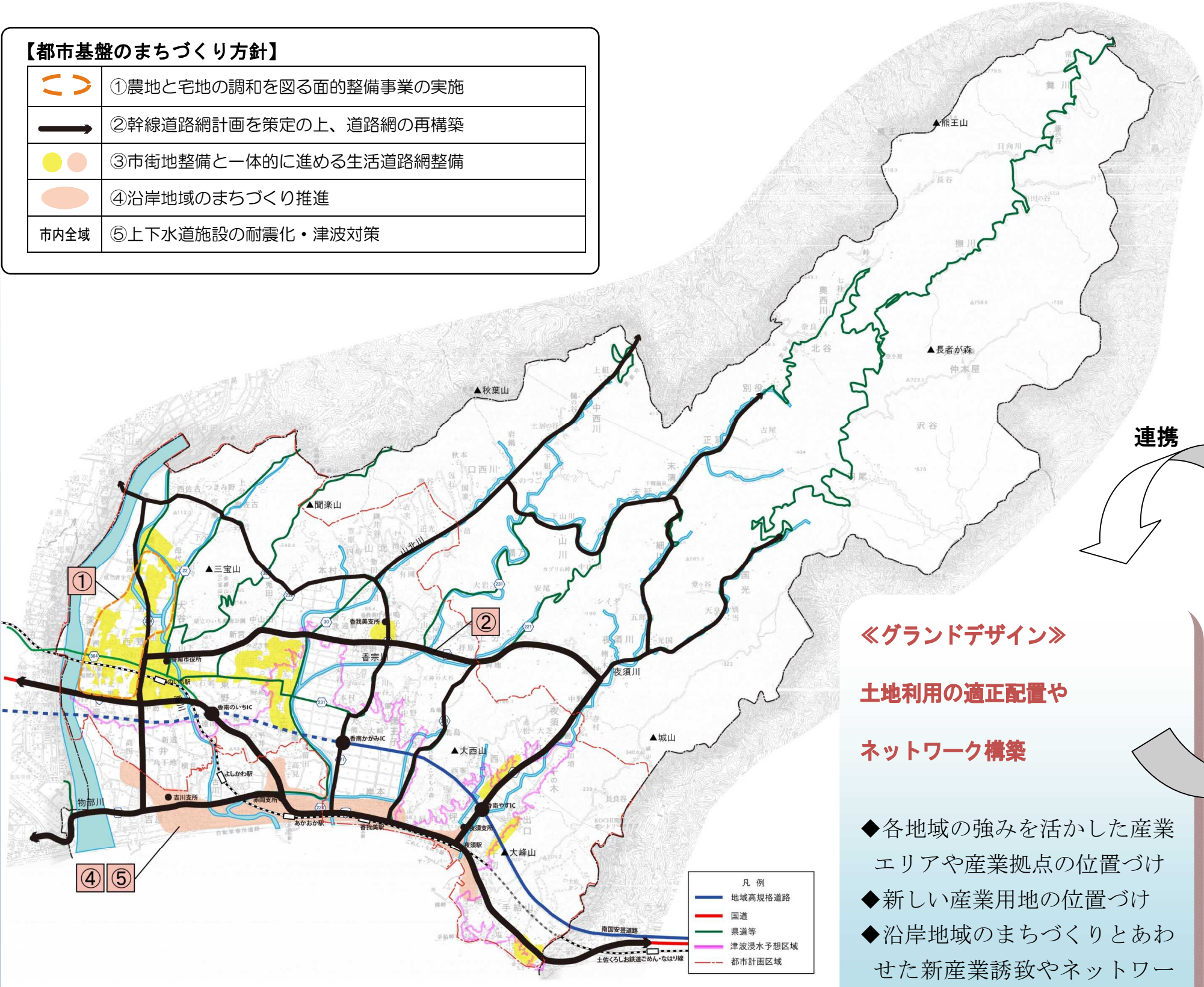
- 商業：従業者数は、卸売・飲食店・宿泊業で増加。
- 農林漁業：農家戸数は減少傾向である一方、農業生産額は平成 17 年から 22 年で増加。林家戸数近年減少、漁業就業者数横ばい。
- 工業：製造業従業者数減少傾向。
- 観光：道の駅利用者減少傾向。

香南市ランドデザイン

香南市産業振興計画

【都市基盤のまちづくり方針】

	①農地と宅地の調和を図る面的整備事業の実施
	②幹線道路網計画を策定の上、道路網の再構築
	③市街地整備と一体的に進める生活道路網整備
	④沿岸地域のまちづくり推進
市内全域	⑤上下水道施設の耐震化・津波対策



《ランドデザイン》
土地利用の適正配置や
ネットワーク構築

- ◆各地域の強みを活かした産業エリアや産業拠点の位置づけ
- ◆新しい産業用地の位置づけ
- ◆沿岸地域のまちづくりとあわせた新産業誘致やネットワークの構築

土地利用を含めた具体的な産業振興
方策の設定

- ◆産業の振興のための必要な施策や取り組みの検討
- ◆産業機能集積地の機能検討
- ◆沿岸地域における新しい産業の誘致の検討
- ◆産業間の連携強化

連携

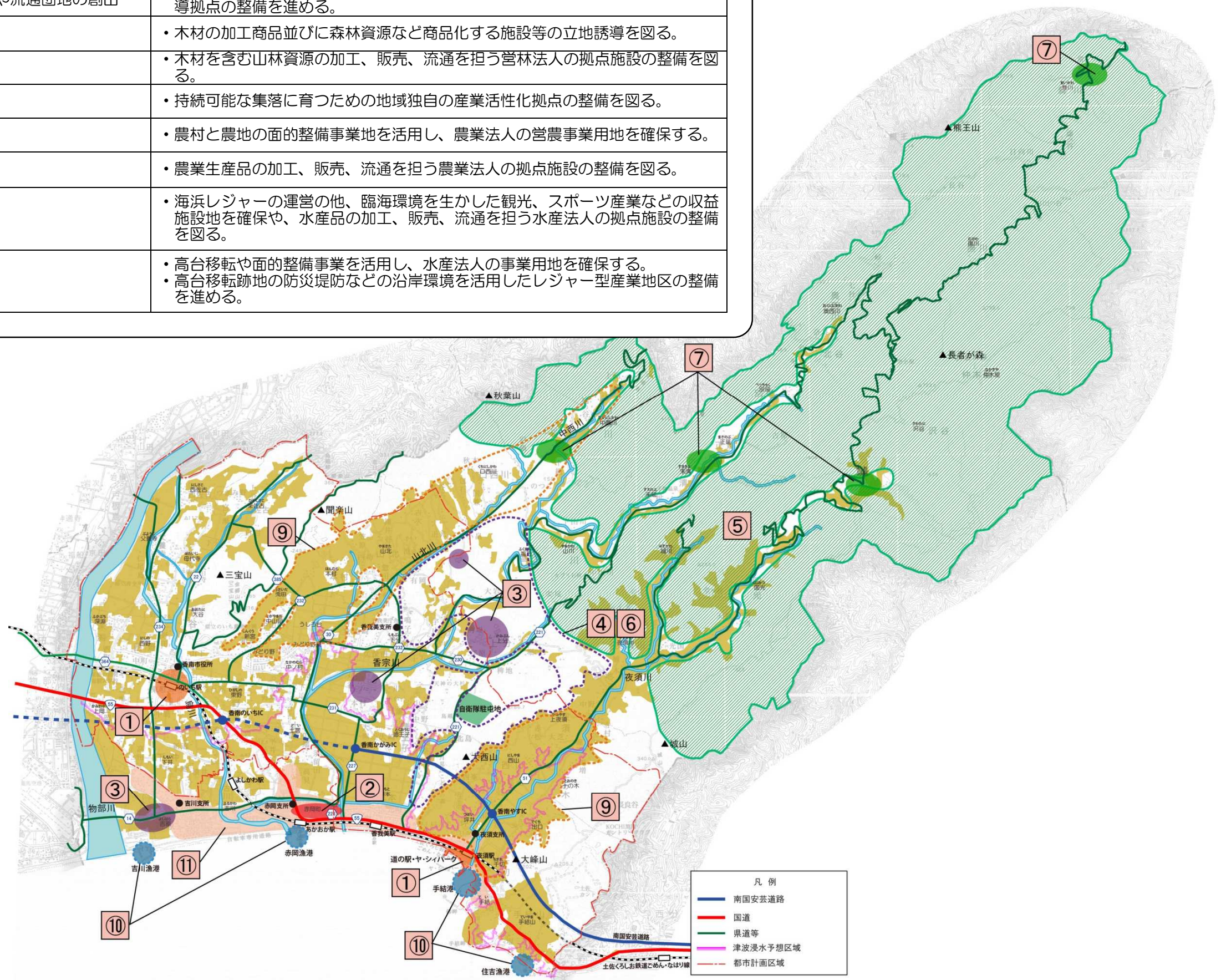
連携

グランドデザイン【産業基盤のまちづくり方針】

	①地域ニーズと広域観光ニーズに合った商業活性化事業の推進
	②高知県の東の玄関口となる観光型商業拠点の創出
	③工業集積地の維持とアクセス強化
	④付加価値の高い業種を誘致する工業団地や流通団地の創出
	⑤林業生産基盤の保全・育成・活用
	⑥森林資源活用加工販売拠点の創出
	⑦集落活性化拠点の創出
	⑧農業生産基盤の整備
	⑨農産品加工販売拠点の創出
	⑩水産品並びに観光漁業活動拠点の創出
	⑪沿岸地域への新たな産業創出

グランドデザイン【土地利用方針（主な方針）】

・中心市街地では庁舎建設を契機とする商業業務拠点の形成を図る。 ・地域と共に広域的な需要に対応するレジャー・観光・商業拠点の充実を図る。
・赤岡市街地では都市観光ニーズを生かし、県東部観光の玄関口にふさわしい商業活性化拠点の整備を図る。
・既存の工場等の産業集積地では、交通利便性や道路、水路、用水等の産業基盤の充実を図る。
・今後の香南市の産業発展を支える優良な工業・流通・レジャー等の産業立地誘導拠点の整備を進める。
・木材の加工商品並びに森林資源など商品化する施設等の立地誘導を図る。
・木材を含む山林資源の加工、販売、流通を担う営林法人の拠点施設の整備を図る。
・持続可能な集落に育つための地域独自の産業活性化拠点の整備を図る。
・農村と農地の面的整備事業地を活用し、農業法人の営農事業用地を確保する。
・農業生産品の加工、販売、流通を担う農業法人の拠点施設の整備を図る。
・海浜レジャーの運営の他、臨海環境を生かした観光、スポーツ産業などの収益施設地を確保や、水産品の加工、販売、流通を担う水産法人の拠点施設の整備を図る。
・高台移転や面的整備事業を活用し、水産法人の事業用地を確保する。 ・高台移転跡地の防災堤防などの沿岸環境を活用したレジャー型産業地区の整備を進める。



香南市産業振興の目標

第2期高知県産業振興計画（平成24年3月改定）

産業振興計画の推進によって目指す将来像（10年後の成功イメージ）

地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

【目標設定】

計画全体を貫く目標①

■県際間の収支を改善する
産業振興計画の取り組みによる10年後の移輸出額の増加効果
+1,300億円（試算値）
《参考：平成17年の県際収支
▲6,678億円》

計画全体を貫く目標②

■今後10年間の人口の社会増減（転入数と転出数の差による増減）をプラスにする
《参考：平成12～22年（年平均）の社会減▲2,158人》



（香南市の具体的な取組）・・・地域アクションプラン/物部川地域

- エメラルドメロンの販売力向上対策
- ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
- 大学生による地域応援団（サポーター）づくり
- 加工品販売による夜須地域の活性化
- 民有林における素材の増産
- 木質バイオマスの活用に向けての取組
- シイラ等の加工商材活用
- 香南市の地場産品販売促進
- 香南市の商業振興への取組
- 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信
- 広域観光の取組の推進

市計画の基本事項

目標年次

高知県産業振興計画の「目指す将来像」や「目標値の達成状況」との関係性を常ににらみながら計画を推進するため、高知県産業振興計画の目標年次との整合を図る。

香南市が高知県のトップランナー

高知県産業振興計画の目標達成に期待される高知県のトップランナーとしての位置づけを意識し、各種取組を位置付ける。

基本的方向

産業間の連携を強化する

- ◆ものづくりを強化し、付加価値を高める。
- ◆県外からの観光客の誘客を図る。

足腰を強め、地力を高める

- ◆第一次産業を伸ばす。
- ◆地域アクションプランの推進。
- ◆中山間対策を強化する。

新たな産業づくりに挑戦する

- ◆新たな産業集積を目指す。

香南市の地域特性を活かせる将来像

高知県の産業振興計画の実現を担う計画として、香南市の地域特性を活かせる将来像を設定する。
課題から導かれる基本的方向性：就業の場の確保、地場産業の発展、工業誘致、地域商業の発展

香南市の色を出す

『香南市グランドデザイン』と連携し、香南市の地域色を出すことのできる横断的施策を位置付ける。《連携テーマの設定》

香南市産業振興計画（平成26年3月）

産業振興計画の推進によって目指す将来像（8年後の成功イメージ）

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

- 1 ○○
- 2 ○○
- 3 ○○

【目標設定】

計画全体を貫く目標①

■バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場、雇用の確保ができる。

計画全体を貫く目標②

■1次産品の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額をあげる。地場産品が安定する、市内で経済活動が活性化する。

資料 2：香南市産業振興計画の骨子（案）

産業振興計画の推進によって目指す将来像（8年後の成功イメージ）

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

この成功イメージには、「香南市の更なる活性化」を進めるため、第一次産業をはじめとした『地産』を強化し、『自立』できる持続可能な産業構造を創造するとともに、『外貨』獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、「産業の拡大を図りたい」、このことにより「次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市にしていきたい」という思いが込められています。

計画全体を貫く目標①

■ バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場、雇用の確保ができる。

【今後 8 年の見通し】

- 各産業分野の取り組みにより生産額が増加する
- ものづくりの地産地消など、地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

計画全体を貫く目標②

■ 1 次産品の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額をあげる。地場生産品が安定する、市内で経済活動が活性化する。

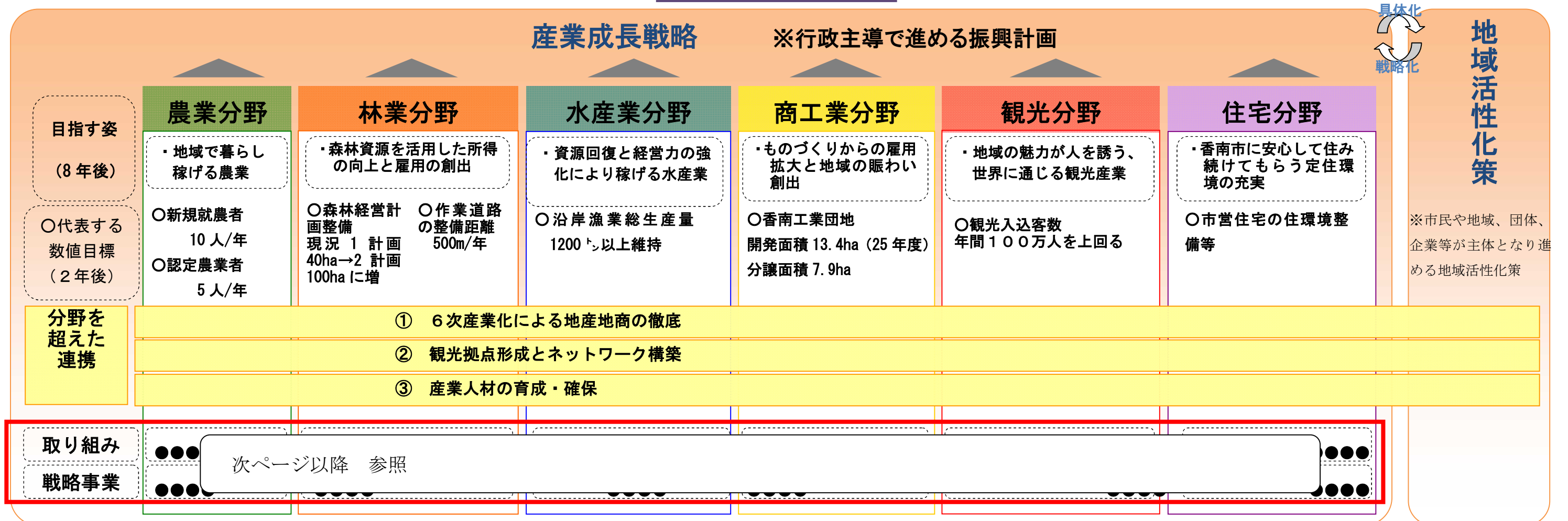
【今後 8 年の見通し】

- 高齢世代の大量退職により、若者の働く場の発生
- 但し、人口自然減により経済が縮み、働く場の規模が縮小
- 新たに仕事に就く若者層は、全国的に少子化により減少傾向

◆ 産業振興計画による魅力ある雇用の場を創出していくことで、働く場が労働力の供給よりも大きくなり、香南市で育った若者が市内で働くことができる状況へ。さらに、市外からの受け入れも可能⇒人口社会増へ

地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造を構築する

学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する



1 香南市産業成長戦略の主な取り組み 農業分野

現状

香南市産業振興計画現状の取り組み

H25

H26

H27

現況
事業

基盤整備・防災

◆農業の振興

○農業生産基盤の充実

・県防災減災事業 基幹水利施設補修事業費負担金

(防災施設対策整備・ため池・頭首工・黒谷池、小山池、烏川)

(排水機場施設整備・香我美第1、江見、吉原、出口)

(物部川合同堰整備事業・山田堰の整備)

(物部川統合堰整備事業・南国、香美、香南へ分水している堰、用水路の老朽化により機能診断

保全計画を作成)

(烏川流域、香宗川流域、山北川流域堰整備事業・老朽化した頭首工の更新)

・農業基盤整備促進事業(頭首工、転倒ゲート、水路改修、区画整理事業等)

・土地改良施設維持管理適正化事業

(新宮宮ノ前自動転倒ゲート更新事業・耕作地への安定した用水確保)

・農村地域防災減災事業(避難タワー、避難路の県事業負担金)

・工業用水道整備事業(水路・道路等整備)

・上岡地区集落道改良他道路、水路工事(農業集落排水条件整備)

・香我美中西川農道復旧工事(農道陥没及び法面の亀裂等の緊急復旧工事)

・吉川町農道壁復旧工事・吉原農道復旧工事・徳王子農道舗装工事(農道壁復旧工事、舗装等)

・重油流出防止付き装置燃料タリ整備事業(重油タリの流出防止対策)

◆河川環境の保全と活用

○治水・利水整備の促進

新

経営改善・担い手

◆農業の振興

○担い手対策の促進

・レンタルハウス整備事業(施設園芸の一層の振興を図るため、園芸用ハウス建設に対して助成)

・園芸用ハウス活用促進事業(中古園芸用ハウスの活用促進に要する経費への助成)

・新規就農研修支援事業費(実践的研修を行う新規就農研修生や研修生受入農家に対する負担軽減)

・青年就農給付金事業(青年就農者の確保及び育成を図る)

・経営所得安定対策推進事業(販売価格が生産費を恒常的に下回る作物を対象にその差額を交付)

・農地、水保全管理支払事業(農地や農業用水等の資源の保全と質的向上を図る交付金事業)

○農産物のブランド化の推進と加工品の開発

・産業振興推進総合支援事業(商品企画・開発や加工品及び販路拡大等取組の支援)

○消費者の安全安心志向への対応

・地産地消推進協議会補助事業(地域で消費する地産地消活動を円滑に推進する)

・環境保全型農業推進事業費(環境保全型農業を実践する農家への資材、設備の導入等について助成)

・残留農薬検査補助事業(出荷前農産物残留農薬検査に対する助成)

中山間

◆農業の振興

○農地の保全と活用の促進

・中山間地域等直接支払事業(中山間地域などの農業生産条件が不利な地域における交付金事業)

・農地利用集積促進事業(担い手への農用地の利用集積を促進)

○有害鳥獣被害対策

・有害鳥獣対策事業(有害鳥獣被害に対する対策事業)

★事業化を目指す

・統合ライスセンター整備事業(広域ライスセンター建築)

・赤岡旧ポンプ場解体事業(赤岡地区旧ポンプ場解体工事)

・経営体育成基盤整備事業(区画整理)

・中山間地域総合整備事業(区画整理)

★加工・流通・販売などの体制を強化する

・高収量、高品質への取組強化

・生産と一体となった加工ができる体制づくり

・農業者の収入につながる地域資源の加工

・農産物加工ができる人材を育成

・地域資源を活用した商品開発や事業者とのマッチングを進める

・6次産業の取組による拠点ビジネスづくり

・統合給食センターと地産地消

・販売戦略等に対する関係機関との連携強化

農家の高齢化・担い手不足・労働力不足

将来の取組

2年後の目標
(H27年度末)

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

●基盤整備の強化により本市農産物の品質を高め、生産量を増やす

●新たな担い手の確保と地域の中核となる農業者等の規模拡大を進める

・認定農業者数

H25: 3人年

→H27: 5人年

・新規就農者数

10人/年

●地域農業を担う経営体の育成

●生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す

●農業者の収入につながる地域資源の加工を進める

●中山間地域の資源を活かした商品開発、販路拡大を支援

●集落営農の育成

担い手確保と基盤整備による農地の生産能力の向上

生産性、技術の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成

一経営体あたりの収入をアップ

担い手へ農地を集積

施設の高度化
・大規模化経営力のある
企業的经营体を育てる

農産品加工販売拠点の創出

農業生産品の加工、販売、流通を担う農業法人育成

中山間で収入を得る仕組みの定着

農で働き香南市で暮らす

・認定農業者数

5人/年

・新規就農者数

10人/年

まちづくりや他産業と連携した稼ぐ農業

若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立

地域で暮らし稼げる農業

現状

香南市産業振興計画現状の取り組み

H25

H26

H27

現況
事業

◆林業の振興

○森林の多面的な利活用の促進

- ・緊急間伐総合支援事業
(森林造成及び森林整備の充実を図ることにより森林の持つ水源涵養機能、国土保全機能を高めると共に水資源の確保に資する)
- ・林道道路側溝整備事業
(土砂、枯れ草等の除去及び崩壊している箇所等の修繕)
- ・森林整備地域活動支援事業
(小規模で分散している森林を取りまとめて、一体的に施業を行う集約化を推進し、効率的な森林整備の充実を図る)
- ・森林経営計画作成事業 (経営計画を作成)
- ・「協働の森」協定事業 (森林の再生と地域の交流)
- ・水源の森整備事業 (物部川流域の育成林の整備)

○森林の活用

- ・木質バイオマス利用促進事業 (木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化)
- ・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会事業 (推進体制の強化、参加者の拡大、協議内容の拡充)



木質バイオマスボイラー

基盤整備・森林資源保全・木質バイオマス

将来の
取組

◆林業の振興を目指す

- ・林業の生産性向上
- ・森林の保全活用
- ・水源涵養機能、国土保全機能を高める
- ・間伐端材の有効利用

中山間地域の高齢化による山林の荒廃や間伐区域の縮小と水源涵養機能の低下

2年後の目標
(H27年度末)

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

- 作業道路の整備距離
500m/年

- 森林の集約化と経営委任の推進

- 森林経営計画の整備

現況 1計画 40ha
目標 2計画 100ha

- 公共事業や公共施設での県産材の利用促進

- 木質バイオマスエネルギーの利用促進と多面的利用の拡大

原木生産の拡大・担い手の確保と技術の向上

作業システムの改善
による原木生産の効率化

獣害対策の加速

森林の集約化を
一層推進森林資源活用加工
販売拠点の創出

木材を含む山林資源の加工、販売、流通を担う営林法人育成

県産材を利用した木造住宅への支援

地産地消の推進

原木の販売価格安定

森林経営計画の樹立

4計画
200ha

持続可能な森林づくり

荒廃森林の解消

県産材使用住宅の普及

公共事業、公共施設での木材利用のさらなる推進

森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出

現状

香南市産業振興計画現状の取り組み

H25

H26

H27

現況
事業

生産・整備

◆水産業の振興

○漁港の改修・整備などの推進・漁業経営の基盤強化

- 水産機能施設の整備（老朽化等に伴う各種漁業用施設の改修・整備等）
- ・高知県リマ区域周辺漁業用施設設置事業
- ・高知県種子島周辺漁業対策事業
- ・高知県漁業生産基盤維持向上事業

漁港施設の整備（適正な施設の維持管理及び計画的な保全工事を実施することにより、施設の長寿命化と更新コストの 平準化・縮減を図る）

- ・漁港深浅測量業務
- ・水産物供給基盤機能保全事業（ストックマネジメント事業）：住吉漁港・吉川漁港（市管理）
- ・県営事業負担金
- ・河川海岸高潮対策事業：岸本海岸 離岸堤設置
- ・水産物供給基盤機能保全事業（ストックマネジメント事業）：赤岡漁港（県管理）

○漁場の保全

- ・藻場再生事業
- ・掃海事業（水産資源生息の場の修復や漁場清掃など、漁場生産力の回復を図る）

○観光漁業の推進

- ・観光漁業の推進事業（地引き網や釣船など多角的な漁業経営を支援）

流通・販売・加工

◆水産業の振興

○水産加工品流通販売の推進

- ・地産地消推進事業（市民への地産地消の普及啓発と学校給食と連携した食育活動の実施）
- ・地場水産加工品等推進事業（水産加工品の付加価値を向上するための取組を総合的に支援する：シイラ加工商材活用）

★事業化を目指す

- ・養殖漁業・内水面漁業の推進

★加工・流通・販売などの体制を強化する

- ・水産加工業の新たな事業化の推進
- ・漁業者による6次産業の事業化
- ・地場加工グループによる雇用の場の確保
- ・水産物の加工、商品化事業の強化促進
- ・水産加工品の販路拡大の促進

将来の
取組

水産・漁港施設の老朽化による生産能力の低下

2年後の目標
(H27年度末)

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

●漁業の生産高を伸ばし、漁業収入を向上

- ・沿岸漁業総生産量を1200トン以上維持（H24:1234t）
* 高知県漁協調べ
- ・新規就業者（中核漁業者）を4名(2名/年)確保

●地産地消の推進

- ・食育活動の展開
- ・水産物のブランド化

●地域の雇用の場を確保

- ・水産加工業の取扱の拡大
- ・漁村における雇用の拡大

漁業生産性の向上と水産物を利用した加工産業や観光産業との連携

沿岸から沖合までの多面的活用

地場産魚としてのさらなる認知度向上

民間企業や新規就業者が参入しやすい環境整備

高知県漁協の買取販売の抜本的な強化

買受人のさらなる連携による戦略的な外商活動の展開

水産品並びに観光漁業活動拠点の創出

水産品の加工、販売、流通を担う水産法人育成

にぎわいのある漁業・漁村

・新規就業者(中核漁業者)を16名確保

香南市ブランドの展開

加工で広がる漁村の雇用

- ・水産加工業の取扱高増加
- ・漁村における雇用の安定確保

資源回復と経営力の強化により稼げる水産業

現状

現況
事業

香南市産業振興計画現状の取り組み

H25

H26

H27

ものづくりの
基盤整備

◆商工業の振興

○企業誘致の促進

- ・香南工業団地管理事業操出金
(香南工業団地の行政管理部分等の維持経費)
- ・香南工業団地誘致企業固定資産購入助成事業
(香南工業団地区域内への企業の立地の促進を図るため必要な措置を講ずることにより、雇用の促進及び産業の活性化を図る)



▲香南工業団地

◆商工業の振興

○既存企業の育成・支援

- 新**・「香南市緊急融資保証料補給金交付事業」
セーフティネット保証制度、中小企業信用保険法第2条第5項に該当し、信用保証協会が保証を行った保証料に対して0.1%の補給を行う。
- ・各種免除、助成事業
(企業の投資額等の算定による固定資産税の課税免除、新誘致企業と連携した助成制度)
- ・産業振興推進ふるさと雇用事業費補助金 ※26年度終了
(「高知県ふるさと雇用再生特別基金」を活用して実施した事業のうち、産業振興に関する事業の継続事業であり、自立可能と認められるものを支援するため、予算の範囲内で補助する。)
- ・起業支援型地域雇用創造事業 ※26年度終了
(地域の産業・雇用振興策に沿った事業を、起業後10年以内の企業等に委託して実施する。受託した企業等は、新たに失業者を雇い入れて事業を実施し、地域の雇用の受け皿を創出することを目指す。)
- ・市内企業連携事業
(市内企業間の情報交流の場をつくり、連携した事業展開が行えるように支援する。サプライチェーンの計画及び、新規の雇用創出することを目指す。)
- ・香南市香我美町立地企業交流会事業
- ・香南市ものづくり会事業

○魅力のある商業地・商店街づくり

- ・こうち商業振興支援事業
(地域コミュニティの創設・商業活性化についての取組事業として行っている生活便利帳への新規店舗の掲載及び「直接消費者、商店と触れ合えるイベント等」の開催へ補助する。)

○空き店舗の活用

- ・空き店舗を活用した拠点づくり事業(空き店舗を活用した拠点づくりを進める)

○新規企業の育成・支援

- ・各種融資事業(国、県、信用保証協会の有利な融資制度活用)
- ・商工会との連携事業(市内金融機関との情報交換、商工会各部会との連携強化)

★事業化を目指す

○6次産業化による新産業の創出

(農産物や水産物の生産だけでなく、流通・販売にも生産者が主体的に関わることで、生産者自身が付加価値を生み出し、産業を活性化できる仕組みづくりに取り組む)

★販売などの体制を強化する

- ・見本市や商談会等外商機会の拡大
- ・企業コーディネーター等による支援
- ・県産業振興センターとの連携強化
- ・インターネット利用による販売力強化
- ・地域の賑わいと生活を支える商業支援の強化
- ・情報発信を推進するとりくみ(市ホームページやソーシャルネットワークサービスなどの活用)
- ・空き店舗調査を実施・拠点づくり事業の実施・助成事業の構築
- ・ポイントカードを活用したコミュニティ連携事業推進

将来の
取組企業誘致基盤整備の促進
大型店舗への消費者流出や高齢者の増加による地元商店街の衰退2年後の目標
(H27年度末)

- 積極的な設備投資と技術力の強化が相まって、生産性や競争力が向上する。

- ・香南工業団地面積

H25 開発面積 13.4ha

分譲面積 7.9ha

- 既存事業者の育成・支援を商工会と連携して推進する。

- 地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進する。

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

企業誘致による雇用の拡大と、商工業者への支援拡充に伴う地域の活性化

企業立地の推進

産業発展を支える優良な工業・流通・レジャー等の産業立地誘導拠点の整備

企業の設備投資の促進とものづくりをリードする
中堅企業の育成

産官学の連携

人材育成

次世代の成長産業の育成

観光型商業拠点の創出

地消・外商活動のさらなる強化と賑わいのある街づくり

競争力のある
企業が育つ産業
集積の拡大香南ならではの
技術やノウハウを
活かして、存在
感をアピールでき
るものづくり産業
の創出地域活性化と
雇用の創出

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出

現状

香南市産業振興計画現状の取り組み

現況
事業

H25

H26

H27

核となる観光拠点の整備

◆観光のまちの育成

○観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

- ・天然色市場管理事業
(天然色市場の集客増加を目指し、販売環境を整備する。)
- ・桜づつみ公園管理事業
(桜づつみ公園内の施設整備。)
- ・天然色劇場及び周辺施設整備事業
(天然色劇場利用促進として、舞台面修繕等総合な周辺整備を行う。)
- ・舞川キャンプ場整備事業
(施設が老朽化しており、避難施設並びにキャンプ場施設として併用できる施設として整備する。旧校舎建物は維持補修を行う。)
- ・林業活動活性化センター(羽尾大釜荘)管理事業
(大釜荘の地盤沈下が懸念されているため施設の修繕を行う。)
- ・サイクリングターミナル管理事業
(宿泊部屋を利便性向上のため整備を行う。)
- ・指定管理者委託事業
(その管理運営を指定管理者に委託する。施設：道の駅やす。絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、大釜荘、直販所共同加工施設)
- ・ヤ・シィパーク周辺地域活性化検討事業
(ヤ・シィパークを中心に東南海地震対策や高知東部自動車道延伸等を踏まえ、安全な地域環境整備の在り方や地域の活性化を促進する整備方針を集約し、今後の防災対策や観光戦略を考える。)
- ・やす駅前広場駐車場整備事業
(やす駅前のロータリーを整備し、大型バスの駐車場を確保し、あわせて乗用車等の駐車導線を変更して、円滑な移動ができるよう整備する。)

○情報発信手段の効果的な活用

- ・観光案内板整備事業
(高知東部自動車道の整備状況に鑑み、観光施設周辺までを分かり易く誘導し、周知する為に観光案内板を設置する。)

○地域に親しむ観光の促進

- ・各種団体への補助金等(各種団体が実施する事業への補助金等)
香南市みなこい港まつり／土佐赤岡どろめ祭り／かがみ花フェスタ／市観光協会補助金／商工業観光振興事業費補助金／香南市宣伝資材作成委託／ゴルフトーナメント振興広告業務
- ・案内人会の活動支援
- ・塩の道事業の支援

○活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化

- ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 ※26年度終了

★事業化を目指す

- ・観光拠点づくり(三宝山の活用、など)
- ・情報発信の拠点づくり
- ・地産地消費のプロジェクト
- ・観光資源の発掘、磨き上げ
- ・国際観光の推進ならびに受け入れ態勢づくり(外国語表記、など)
- ・おもてなし意識の向上
- ・6次産業の取組による拠点ビジネスづくり
- ・物部川流域3市合同による連携推進(イベント、など)
- ・スポーツ関係のトレーニングキャンプや大会誘致
- ・体験型滞在型観光資源づくり

将来の取組

施設の老朽化対策と観光消費拡大に向けた地域間の連携強化

2年後の目標
(H27年度末)

- 核となる観光拠点の整備

- 観光資源の発掘、磨き上げの推進

- 広域観光の推進

平成24年度香南市
観光入込客数
(年間約100万人)
を上回る

- 効果的な広報、セールス活動の推進

- 人材の育成

- おもてなしの向上

- 国際観光の推進

成長戦略のポイント

全国に通用する核
となる観光・商業活
性化拠点の形成と
ネットワーク構築

三日以上滞在でき
る質の高い観光地
づくり

高知空港などから
のアクセシビリティ
(※)
の向上

市内交通アクセス
の充実

ヘビーリピーター(※)
の拡大
(年に2回以上)

おもてなし意識の
醸成

8年後の目指す姿
(H33年度末)

観光立市として、市民
にもその意識が定着し
ている

高知家のトップランナー
となる

「歴史」、「食」、「文化」
など、本市が持つ優位
性が観光地づくりに生
かされ、国内外から市
内各地に観光客が訪
れることで、地域の活
性化につながっている

本市が持つ個性に県
外客が惹かれ、リピー
ターとなって繰り返し訪
れているとともに、中長
期の滞在も進んでいる

観光拠点間を結ぶ交
通アクセスの進展に伴
い、様々な形の周遊観
光が根付いている

地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業

※アクセシビリティ：障害者や高齢者を含む多くの人にとって、製品やサービス、システムが容易に利用可能であること。また、その利用しやすさの度合い。

※ヘビーリピーター：一度訪れた施設や店舗、公演などに何度も足を運ぶ人のこと。

現状

香南市産業振興計画現状の取り組み

現況
事業

H25

H26

H27

都市景観・住環境の整備

◆都市景観・住環境の整備

○市営住宅の整備

- ・改良住宅ストック総合改善事業
(改良住宅の長寿命化に向けて住戸改善事業、環境保全のため単独浄化槽を合併浄化槽に変更、集合住宅の共用部照明をLED化)
- ・公営住宅等ストック総合改善事業
(公営住宅の長寿命化に向けて住戸改善事業、集合住宅の共用部照明をLED化)
- ・市営住宅単独事業
(市営住宅揺れ対策、住み替え対策、地盤改良・床沈下修正工事、集合住宅の共用部照明をLED化)

○緑豊かな都市空間の創出

- ・香南市都市計画マスタープラン作成委託業務
(「市町村の都市計画に関する基本的な方針」である都市計画マスタープランを作成。)
- ・公園管理委託業務
(公園管理の委託料①公園植栽管理②公園清掃後の草(残土)処理③公園遊具点検業務④浄化槽維持管理など)
- ・公園施設整備事業(改修・撤去・整備等)
(市内公園施設(遊具等)の改修・撤去等を行なう。①公園施設の改修外 ②健康ベンチ設置)

○住環境の整備

- ・土地開発保全条例に基づく開発審査
(適正な宅地化が行われ、開発後は市民が安心快適に生活できるよう、公共施設の整備や周辺住民の理解の状況などを確認し、開発の許可を行う)

将来の
取組

みんなですすめる「こうなんすまい」

- ★南海トラフ地震に備える
- ★自然とうまく付き合う
- ★高知の素材をつかう
- ★高齢者も暮らしやすい

快適で暮らしやすい住環境の整備

2年後の目標
(H27年度末)

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

●市営住宅の住環境整備

●香南市まちづくりグランドデザインの推進

- 災害に強いまちづくりに向けて
- ・津波浸水予想区域外への移住に向けたまちづくりの推進
- ・津波防御施設の強化
- ・沿岸地域のまちづくり推進
- 都市計画マスタープラン作成

防災性の向上を図った安全・安心のまちづくり

拠点となる施設などの整備

グランドデザインによる土地利用の推進

高台移転や現在地での建物の高層化など地域の実情に応じた事前復興の検討

津波浸水予想区域外への新しい優良な市街地の形成

自然との調和を考慮した計画的・総合的な土地利用の推進

市街地における都市的土地利用の推進

香南市に安心して住み続けてもらう定住環境の充実

香南市産業成長戦略の主な取り組み 地域活性化策

現状

現況
事業

香南市産業振興計画現状の取り組み

H25

H26

H27

まちづくり・市民自治

◆市民自治の推進

- 集会所の整備
 - ・集落公民館整備事業（集落が維持管理する集会所や公民館の新築、改修に対し補助を行う）
- 地域活動の支援
 - ・香南市地域活性化総合補助金（多様化する地域の生活課題に密着した地域活動が行えるよう、自治会や協議会等に補助金を交付することで、活動支援に努める。）
 - ・地域カルテ（地区懇談会等の意見集約を行い調整を図る）
 - ・人生のフローチャート
 - ・地域支援課の支援策（各地域活性化の構築、仕組みをつくる、産業分野に特化したものは産業振興計画として取り組む）

中山間対策

◆安心して暮らせる中山間地域への対策

- 地域活動の支援
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（集落活動の維持や再生に向け、廃校や集会所等を拠点として、生活、福祉、産業、防災等の取り組みを集落の連携により一体的に進める。H25.4 香我美町西川地区に西川地区集落活動センターを設立）
 - ・地域おこし協力隊員（中山間地域等の対策として、「地域おこし協力隊員」及び「集落支援員」を雇用し、集落の維持や活性化を図る。）

◆公共交通の充実

- ごめん・なはり線と市営バス路線の機能充実進
 - ・市営バス運行委託事業（他の公共交通機関を利用できない地域や、高齢者等の交通弱者対策としての公共交通の確保をするとともに、各地域を効率よく結び、利便性の高い路線や運行ダイヤ編成を図る。）

「暮らし・県産業振興」関連

★交流人口の拡大

- ・山北文化の会（安岡家住宅）・城山に公園を作る会（懸崖菊）・西川花公園
- ・西川地区活性化推進協議会（あぐりのさと、塩の道保存会香南支部）
- ・岸本チューリップ・父養寺あじさい・舞川キャンプ場・はま美人を作る会 など

★高知県産業振興計画

- ・エメラルドメロン販売力向上対策事業（事業主体：土佐香美農協）
- ・シイラ等の加工商材活用事業（事業主体：高知県漁協手結支所）
- ・地場産品販売促進事業（事業主体：観光協会） など

将来の
取組

- ★地区集落活動センター
- ★香南市特産品ブランド化事業（6次産業化推進事業（場の整備、仕組み、人材育成））
- ★販売戦略企画運営事業
- ★産官学連携名産品販売拡大事業
- ★歴史・食・体験等による交流人口拡大事業
- ★観光・文化交流拡大事業
- ★新庁舎周辺整備計画検討事業
- ★優れた沿岸環境を活かした先駆的な産業機能提案・立地誘導など、沿岸地域の安全・安心・発展まちづくり推進事業

2年後の目標
(H27年度末)

- まちづくり協議会の設立が増え地域が活性化する
協議会数 H25 → 9 協議会
H27 → 11 協議会
- 地区集落活動センター設立
H27 → 2 地区

- 第一次産業を伸ばす
- 地域アクションプランの推進
- 中山間対策を強化する
- ものづくりを強化し付加価値を高める
- 産業人材を育てる

- まちづくりグランドデザインによる具体的なビジョンを示す
- 香南市に移住してもらえる仕組みづくり
- 仕事や住居等の多様な情報や道筋の提示

成長戦略のポイント

8年後の目指す姿
(H33年度末)

取組により地域の総生産額を増加させる

地区集落活動センター収益事業の拡大
各集落での加工品といった小さなビジネスを拡大
持続可能な集落に育つための地域独自の産業創出

交流拠点等の整備により交流人口の拡大
地域アクションプランの事業化による新たな産業及び雇用の創出

新庁舎周辺土地利用計画や沿岸地域のまちづくり等による方針の確立

地域別土地利用計画、産業活性化拠点施設整備方針の確立
住と職の整った地域のイメージアップ

コミュニティ意識の醸成が図られ自治機能が強化し交流が活発になる

自立した地区集落活動センターの運営
4地区

地域内で経済の好循環

地域コミュニティを維持し暮らし続けられるまちづくり

新庁舎の建設と周辺の新たな土地利用による活性化

地域産業のさらなる振興と多彩で魅力のある働く場の創出

資料 4：分野を超えた連携テーマと地域活性化の実現に向けた課題及び次年度からの取り組み内容等

分野を超えた連携テーマ

- 各産業分野による取り組みや各地域での取り組みをより効果的に進めるため、農業、林業、水産業、商工業、観光、住宅といった産業分野を超えた連携テーマを設定し、連携強化を図ります。
- 連携テーマの設定にあたっては、地域資源の価値の再発見・創造による新たな魅力づくり（付加価値化）、地域づくりの効果的な連携による地域経済の活性化、魅力ある産業づくりと雇用の場の創出・移住促進などを念頭に、暮らしと産業が調和したまちづくりを意識します。
- 取組を実現していく手法（事業）として 仮「香南市産業振興推進総合支援事業費補助金」等、市独自の支援事業の創設を行います。

連携テーマ	取り組み	取り組み（施策・事業）の効果
(※) 6次産業化による地産地商の徹底 (※) 〈人々の暮らしを支える産業づくり〉	- 地産地商の拠点（直売所）の整備 - 市内生産物等を活かした魅力ある新商品の開発（食品加工等） - 地域での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援 「生産」「加工」「流通」の支援	- 消費者の安全で安心な農産物や水産物のニーズ等、食への関心の高まりへの対応 - 生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定 - 食糧の安定供給、地場産品の生産の維持・継続
観光拠点形成と ネットワーク構築	- 資源の再発見（価値化・付加価値化） ・新庁舎周辺、赤岡市街地、三宝山等 - 観光・交流の場づくり（地域住民参加）、ビュースポットの発掘 - 観光旅行会社（企画）とのタイアップによる複数の観光ルートの構築 - 情報発信となるアンテナショップの設置	- 交流人口の増加により、地域の活力維持、新産業の誘致 - 市内の地域資源、観光スポットの有効活用による入込客数の増加 - 地域の情報発信、ブランド化、各産業と連携した観光振興（体験型、景観満喫、名産品の販売、多様な地域の特産品の飲食等）
産業人材の育成・確保	- 雇用支援、起業支援のための情報発信、情報入手の場（拠点）の整備 - 若年層の交流や情報交換の拠点（集いの場）整備やイベント開催 「土佐まるごとビジネスアカデミー」のPR、受講者拡大 - 土佐FBC(フード・ビジネス・クリエイター)人材創出事業との連携 - 教育研究機関との連携（共同研究等）	- 移住促進施策と一体なって、暮らしと産業が調和した、自立都市への転換 - 県内第1位の年少人口比率を有する香南市における、若年層が働きたいと思う魅力ある産業と働く場の確保による人口流出防止

※ 6次産業化：農山漁村の様々な地域資源（生産物、風景、伝統文化等）を活用し、生産者等自らが生産・加工・流通（販売）に一体的に取り組み、所得を増大する、あるいは生産者等が主体となって、2次、3次産業事業者と連携して、地域ビジネスの展開や、新たな産業の創出により儲かる第一次産業を実現する取り組み。

※ 地産地商：いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方。

地域活性化策（案） ※市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

地区集落活動センター	集落活動の維持や再生に向け、廃校や集会所等を拠点として、生活、福祉、産業、防災等の取り組みを集落の連携により一体的に進める。 香我美町西川地区では、夢部会、集う部会、支え合う部会の三部会でそれぞれの年間計画を立て活動。また、西川地区の他にも中山間地域等に地区集落活動センター設立に向けた取り組みを行う。
香南市特産品ブランド化事業（6次産業化推進化事業(場の整備、仕組み、人材育成)）	地域で生産される農林水産物の加工場整備、スタッフ募集をはじめ、6次産業化に向けた新商品開発等を担う組織の活動を推進する。 教育研究機関などと連携し、人材育成を行う。 既存施設などの有効活用を行い、地産地商の拠点づくりを行う。
販売戦略企画運営事業	各種情報発信のためのアンテナショップの企画運営等を行う。 施設を有効活用し、郷土文化の育成、伝承及び文化交流、市民の文化活動利用、観光情報発信拠点化、名産品・新商品販売等の拠点化などに向けた取り組みを行う。
産官学連携名産品販売拡大事業	道の駅やす、ヤ・シィパークを中心に東南海地震対策や高知東部自動車道延伸等を踏まえ、安全な地域環境整備の在り方や地域の活性化を促進する。後の防災対策や観光戦略を考える。 また、高知東部自動車道の延伸により、高知や安芸方面からの観光施設等へのアクセスが容易になると予想されるため、観光案内板を設置。 食文化の発信拠点として、産官学連携によるアンテナショップ・レストラン等の企画・運営を行う。
歴史・食・体験等による交流人口拡大事業	香南市みなこい港まつりといった香南市の夏を代表するイベントの開催、香南市の食文化を知ってもらう新規イベントなどの企画、開催、農山漁村の地域資源を活用した体験型ツーリズムの企画、開催などを行うとともに、魅力が伝わる宣伝資材を製作し、香南市への観光客増加、交流人口拡大を目指す。
観光・文化交流拡大事業	高知東部自動車道が延伸する事により、高知や安芸方面から、ヤ・シィパークや道の駅やすなど周辺の観光施設等へのアクセスが容易になることを想定し、ICから観光施設周辺までの誘導に向けて、観光案内板の設置、観光旅行会社（企画）とのタイアップによる複数の観光ルートの構築、休憩拠点（情報、一時駐車場・トイレ）の整備を行う。
新庁舎周辺整備計画検討事業	駅前整備や新庁舎周辺を含む周辺の計画について検討を行う。

地域活性化策の実現に向けた課題 ※市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

地域活性化策の実現には、各種取り組みを下支えする取り組みとして、以下のような取り組みが必要となります。

産業間の連携強化

◆第一次産業や観光産業が生み出す経済効果を全産業に行き渡らせるため、また、生産から加工・販売まで市内で完結させるため産業間の連携を強化が必要です。

第一次産品の安定生産の体制づくりと産業集積の促進

◆6次産業化に取り組むため、まずは、水産も含めた第一次産品の安定生産の体制づくりと各地域の産業集積の促進等に向けた取り組みが必要です。

産官学の連携

◆産の技術、学の知恵、官の資金とネットワークを有効に活用するため、地域が主体となり、産学官との積極的な情報交換や交流促進に取り組む必要があります。

人材育成

◆産業の担い手を増やしていくため、新たなことに果敢に挑戦する志と知識・技術を持った人材を発掘するとともに育成を図っていく必要があります。

戦略品目づくり

◆地域の生産物や加工品の商品価値を高めるため、各地域の強みを活かし、地域で知恵を出し合い、付加価値の高い商品づくりに取り組む必要があります。

行政の支援協力体制構築

◆市民や地域、団体、企業等の主体的な取り組みを促進するため、行政の支援体制の構築や支援側の人材確保が必要です。

次年度からの取り組み内容や方針

次年度からは、香南市産業振興計画の運用を開始するとともに、県をはじめ、市民や各種団体との調整を行いながら、計画をグレイドアップするなど、以下のような取り組みを行います。

産業成長戦略に基づく各種取り組みスタート

◆産業成長戦略に位置付けた各種取り組みについて、各担当部署が主体となり進めていきます。

市民意見反映と計画見直し

◆地区懇談会やまちづくり協議会等を通じて、担い手となる市民や団体との懇談を行うなど、市民等の意見を拾い上げながら計画の推進、計画の見直し等を行います。

目標値の具体設定・調整

◆8年後の目標値については、現在の数値調査を行うとともに、産業フレームなど、地場産業の在り方に関する将来目標数値の設定を行います。

土地利用を含めた具体的な方策設定

◆グランドデザインとの連携を念頭に、土地利用を含めた具体的な産業振興方策の設定を行います。

地域活性化策の具体化

◆各分野、各地域において、市民や地域、団体、企業等が主体となり検討する場及び合同交流の場を設け、地域活性化策の抽出・具体化を行います。

計画推進体制の構築

◆各課が進める各種事業の進管理、連携テーマに基づく取り組み推進、地域活性化策の実現支援などのため、計画推進体制を構築し、連携・調整しながら進めます。

※参考資料

■香南市まちづくりグランドデザインの検討の流れ（予定）

